

加藤建設が推進する環境配慮活動 “エコミーティング”

地域住民配慮事例① CO₂排出量削減・現場の見える化

住宅地での工事は、周辺住民の気持ちになって考えます。黒鉛除去装置を機械にセットしたり、ハイブリッド重機を使用したり、万能堀の一部をクリアタイプに変更し、現場の見える化を推進しました。



地域住民配慮事例② オリジナル看板の製作

工事の内容をよりわかってもらうためにわかりやすい説明看板を製作しています。



地域住民配慮事例③ 見学会の開催

工事に対する興味をもって頂くために見学会の開催を実施しています。



はじめに

わたしたち建設業は、人々が安心・安全かつ豊かな暮らしができるよう河川や道路、公園などの“インフラ整備”を進めています。でも建設業って、環境破壊してるじゃないですか・・・建設業のことをこんなイメージに思っている方々も少なくないと思います。たしかに、山を削って道路や宅地を造成したり、海を埋め立てて土地を造成したり・・・町の中で工事をすれば、騒音や振動、車の渋滞など・・・自然の生き物や地域の人々に迷惑をかけているかもしれません。でも、私たち建設業はモノづくりのプロ集団!! 工事現場で環境や人に配慮したことを色々と考え実践することで、生き物や人々に喜んでもらうことは出来るはずです。そんな思いから始めたのが、株加藤建設のエコミーティングなのです。



株加藤建設キャラクタービोटくん

エコミーティングの目標



1 自然環境配慮
工事における自然環境の保全と再生

2 地域住民配慮
地域にとって暮らしやすい街づくり

3 コミュニティーづくり
工事と地域とのつながり

この三つの目標のために、現場を確認し、様々なことをミーティングします。

コミュニティづくり① 体験学習イベント

職場体験

地域の子もたちに建設業の魅力を伝えるために、職場体験を実施しています。



自然体験

地域の子もたちに身近な自然の魅力を知ってもらうために自然観察会を実施しています。

コミュニティづくり② かわら版の配布とイベント参加

工事の状況や私たちを知ってもらうために、かわら版を制作して地域に配布しています。



このお陰で、地域のお祭りなどに参加させて頂くことも多くなりました。



発注者・元請業者の皆様へ

このリーフレットは、エコミーティングとはどのような活動なのかの説明と今まで実施してきたエコミーティング事例の紹介となります。もし工事にて様々な提案要望がございましたら、弊社の営業もしくは工事担当者に一言お声掛けください。現場にマッチしたご提案をさせていただきます。



エコミーティングの流れ

現場を訪問し、概要確認

・・・メンバー※が受注現場を訪問し、工事概要を確認します。

周辺状況の確認

- 1) 自然環境状況
- 2) 人の住環境状況
- 3) 要望に対する確認

・・・現場内や現場周辺の状況を確認し、自然や周辺住民に対する影響を考えます。
e x 自然) 生物への影響、河川への影響、など
住民) 騒音、振動、イメージアップPR、など



ミーティングの実施

・・・現場確認後、ミーティングを行い意見のブラッシュアップを進める。

提案書の作成

・・・ミーティング内容を提案書にまとめる

現場にて実施

・・・提案書のアイデアを現場にて実施する。



※エコミーティングは職種を問わず会社全体で実施しています。



エコミーティング実施例

私たちは、自然環境に配慮した提案を実施する為 **ビオトープ管理士** (Biotope Planners and Builders) の資格取得を推進しています。現在では社内に約200名の有資格者がおり、現場に応じた様々な提案をさせていただきます。

自然環境配慮事例① 生態調査および保護活動・外来種防除

様々な現場にて、生態調査及び保護活動や外来種防除を実施しています。また、調査結果をポスターにて掲示し、地域の方と環境情報を共有しています。

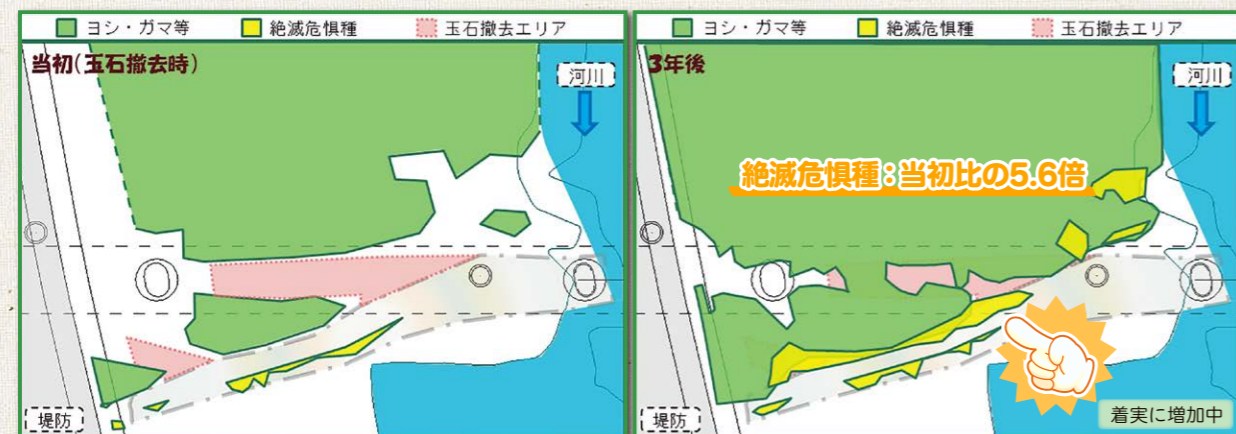


自然環境配慮事例② ヨシ原の復元および希少種の保護

現場の玉石によりヨシの生育が妨げられていたので、設計変更にて玉石を撤去し護岸に活用。施工から3年経過し、ヨシの繁茂がほぼ全域に拡大しました。



また、現地調査で発見した絶滅危惧種のタコノアシも、繁茂エリアが順調に増加しています。



自然環境配慮事例③ 希少種の保護および設計変更

地盤改良工事の対象地に市の天然記念物である『ヒメタイコウチ』が生息しているとの情報があり、『ヒメタイコウチ』の保護のため、現地調査・保護活動を実施しました。また、生物多様性に湿地は重要なため、元請け及び発注者に通水性能を有する地盤改良を提案。設計変更協議を経て改良率50%にて施工を実施する事が出来ました。



自然環境配慮事例④ 生態系ネットワークへの配慮

工事対象地にて伐採の予定だった大きな『エノキ』の木。でもエノキは、地域の鳥や昆虫にとって必要な木ですので、地域の環境を調査し、資料を制作し発注者に提案した結果、伐採を回避する事が出来ました。

